



大宮小だより

R4年5月24日 No.3

発行 阪井宏行

～当たり前的事を一流に『凡事一流』～

4,5年生が田植え体験 ～地域みなさんと体験学習～

5月16日(月)、地域学習の一環として、4,5年生が滝原の学習田で田植え体験学習を行いました。印をうった長いロープの前に、みんなが一行に並び苗を植えていく昔ながらの田植えです。最初は「きゃー、きゃー」言いながら泥に足を取られていましたが、すぐに腰の入った姿勢でリズムよく植える姿が見られました。田植えの指導にあたっていただいたのは『人とホタルの元気な里地づくりプロジェクト』の皆さんです。大宮小学校の地域学習に大きく関わってもらっています。子ども達にたくさんの体験をさせてくださる頼もしいパートナーです。



『人とホタルの元気な里地づくりプロジェクト』は、滝原地区の方が中心になり平成23年度より活動を始めました。「過疎化・高齢化が進み農地や林地の放棄に伴う獣害など、昔なつかしい里地の風景が失われつつある中、自分たちの子どもや孫の世代に恵まれた自然を守り引き継ぎたい。」そんな思いから立ち上がった組織です。その目的や主な活動は、【里地の保全】【農地の維持、遊休農地の活用】【ホタルを中心に多様な生態の保護】【子どもの学習の場づくり】【地域外の人との交流・協働】などです。今回の田植えにも十数名の方が参加してくれました。

大宮小の地域学習として、このプロジェクトと関わる事業は次のとおりです。

時期	内容	学年	備考
5月	田植え	4,5年	滝原頓登地区に田を借りています。
	ビオトープ花植え(春)	2,3年	滝原「れんげの里」近くにあります。
7月	案山子づくり	4,5年	学校で案山子を作り、田んぼに立てます。
9月	稲刈り	4,5年	稲を刈って田んぼに干します。
10月	滝原宮大祭での米販売	4,5年	昨年は大祭が中止。文化祭で販売。
	アサギマダラ観察・マーキング	未定	海を越えて台湾まで飛んでいくチョウです。
11月	ビオトープ花植え(秋)	2,3年	ビオトープには色々な水生生物がいます。
12月	餅つき大会	全校	例年全校で。昨年は中止になりました。

学校運営協議会が発足 ～地域と共にある学校を目指して～

本年度から、大紀町内の6つの小中学校に、それぞれ「学校運営協議会」という組織が立ち上げられました。その目的は、①地域住民の学校運営への参画、②地域住民の支援、協力、③学校と地域との信頼関係の構築、などが挙げられます。この組織の設置は、文科省が全国的に推進しているもので、学校運営協議会が設置されている学校を「コミュニティスクール」と呼びます。

先日、第1回の会議を開催し、メンバーの紹介、学校経営方針の説明と承認、意見交流などを行いました。本年度の学校運営協議会は下記の10名で構成されます。

◎は会長 ○は副会長

	名前(敬称略)	備考		名前(敬称略)	備考
1	◎柏木昭久	人とホタルの元気な里地づくり	6	奥山富子	大宮保育園長
2	○水口道成	PTA 会長(R4 年度)	7	生駒貞子	放課後児童クラブ代表
3	西 常雄	滝原区長代表	8	西 季保	PTA 母親部長(R3 年度)
4	奥村一夫	阿曽区長代表	9	西尾直人	大宮小教職員代表
5	出口眞市	人とホタルの元気な里地づくり	10	阪井宏行	大宮小学校長

※文部科学省より

